

追加資料の発行に当たって

吉野川資料研究会が編集し、平成八年八月一日に建設省徳島工事事務所が発行したオランダ人デ・レーケ著『吉野川検査復命書』の現代語訳には問題点がありました。それは、現代語訳の原本となったガリ版刷本に、まるまる一ページ分の欠落があることです。現代語訳に当たって、出来る限りガリ版本のもとになった原資料を探しましたが、ついに発見できませんでした。

完全な現代語訳を期すためには、原資料の発見まで刊行を見合わせるべきでありましたが、第十堰が県民全体の話題となっていて現在、決定的な問題点がない限り一刻も早く基本資料を分かりやすい形で公にする必要があると判断し、欠落部をそのままにして公刊しました。

発刊後、約半年にして数年間探して見つからなかった墨書の原資料が発見されました。もう少し待っておれば完全な資料が出てきたのにといい無念な思いをいたしました。もうわれわれが刊行という行動をとらなければ、あるいは原資料は再び日の目を見なかったかも知れません。その意味で私たちの刊行は決して無駄ではなかったと確信しております。

しかし、すでに公刊した以上、発見された欠落部を出来るだけ早く公にする責務があると考え、今回、欠落していた部分の現代語訳及び原資料からガリ版本への転写の間違いで数字など重要と思われる部分の正誤表を公刊することにいたしました。

なお変則的になりますが、今回刊行する欠落分のページを（20-1）といたします。

平成九年七月